

第33回安中市行政改革審議会会議録【概要】

(以下、敬称略)

- 【日 時】 令和3年7月13日(火) 午後2時～2時半
【場 所】 本庁舎202会議室
【出席委員】 6名(佐藤、茂木、小坂、萩原、恩幣、黛)
【欠席部会員】 5名(小竹、藤巻、天田、武井、嶋田)
【事務局】 4名(秘書政策課長、政策推進室長、担当係員)
【配付資料】

会議次第
委員名簿
資料1 人材育成について(答申案)
前回審議会会議録

【詳細】

1 開会 《秘書政策課長》

2 会長挨拶

3 協議事項

人材育成について(答申案) [資料1]

<説明>事務局

◆答申案について

- 資料1は前回の行政改革審議会にて、答申案についてご審議いただいた内容を事務局で整理し、それらを反映させたものである。
- 前回の審議会後に追加・修正した部分を中心に説明する。

◆「1 安中市独自の視点に基づく人材育成」について

- 1行目の「どの自治体でも当てはまるような一般論に加えて、」の「加えて」の部分が以前は「ではなく」という表現であったが変更した。
- 次に、3行目に「併せて他の自治体と比較した上で」という文言を追加した。
- これは、安中市の状況を分析するには他の自治体のことも知らなければならないということを表す。
- 次にこの項目の最後に、「また、社会情勢の変化を予測し、これからの安中市の職員として求められる能力や資質を備えた人材を育成しなければならない。」という一文を追加した。
- これは、先を見据えて、時代や社会の変化を予測した育成が重要であるという意見を取り入れたものである。

◆「2 行政改革審議会が求める人材育成の方向性」について

- 最後に「また、市長のまちづくりへの思いを職員が共有することが大切である。」という一文を追加した。
- 6月23日の事前配布時には「市長のまちづくりへの思いを職員に伝えていくことが大切」という文言であったが、「伝える」から「共有する」という表現に変更した。

◆「3 安中市人材育成基本方針」への提言について

◆(2) 人材育成の方策のあり方

- 前回の審議会でOJTについての意見が多くあり、非常に重要であるということから、アの職員研修を(ア)の職場研修(OJT)と(イ)の職場外研修(OffJT)の二つに分けて記載した。

◆ア 職員研修

◆(ア) 職場研修(OJT)について

- 「職場研修は、職員一人ひとりの個性や特性に応じた細やかな指導が可能であり、職員の能力開発に有効な手段である。また、職場でその時々課題を学ぶことから、社会情勢の変化に対応した育成が可能である。日頃の仕事一つ一つを人材育成の機会ととらえ、職場研修を重視するべきである。
さらに、仕事をするとき、漫然と仕事をするのではなく、自ら課題と解決策を考えることが大事であり、それにより、今までになかった新しいことに挑戦する力が身につく。」と記載した。

◆(イ) 職場外研修(OffJT)について

- 1行目に「効果検証をしっかりと行い、効果の低い研修があれば廃止するとともに、」という文言を、研修メニューの見直しが必要であるという趣旨で追加した。

◆イ 人事評価制度

- 最後の部分に、「さらに、新しいことに挑戦することや、既成概念にとらわれず広い視野で目標にアプローチすることを評価し、職員の意欲の向上につながるような制度を検討すべきである。」という一文を追加した。
- 職員の意欲を向上するには、新しいことに挑戦することを評価したり、新しい手法を取り入れて目標達成に向けて取り組む姿勢を評価するべきであり、そのような制度を検討すべきである、という意見を表した。
- 以上が、前回審議会の内容を受け、修正を加えた答申案となっている。
- 主に、答申案の内容についての表現で、修正が必要と思われる点、全体の構成や答申に盛り込むべきもので、記載されていない内容などを中心にご審議いただきたい。

<審議> ◇委員 ●事務局

◇ ただ今の事務局の説明について、ご質問・ご意見はあるか。

◇ 「安中市独自の視点に基づく人材育成」について

<p>① 「どの自治体でも当てはまるような一般論に加えて、安中市独自の視点を持つことが重要」と変更した表現について、「一般論に加えて」という表現だと意味がぼやけてしまわないか。独自性を強調する表現の方が良いのではないか。</p> <p>② 「安中市の状況や課題をよく分析し」という表現が抽象的すぎるのではないか。状況や課題が何を示すのか明確にした方が良い。例えば、人口や財政状況や産業構造など明示した方が良い。</p> <p>③ 「どういった研修が必要になるのか」について、いきなり研修という言葉が表れると分かりにくい。</p>
<p>◇ 今のご意見について考える。</p> <p>① 「一般論だけではなく」という表現にして、後半の安中市独自の視点を強調するとよろしいのではないか。</p> <p>② 「安中市の人口・財政・産業などの課題をよく分析し」と明確にする方が良いと考える。</p> <p>③ 「どういった研修が必要となるのか」については、確かに唐突である。「どういった方策が必要となるのか」という表現の方が的確であると考えている。</p> <p>このような案はどうか。</p>
<p>◇ 同じような表現であるが、「一般論にとどまらず」という表現はどうか。それ以外の部分については、今のまとめ方で良いと考える。</p>
<p>◇ 「一般論にとどまらず」という表現でまとめたいと思う。</p> <p>他の委員にも意見・感想等を伺いたい。</p>
<p>◇ 「安中市の職員」とはどこまで対象とするのか。病院や教育委員会の職員を対象とするのか。</p> <p>● 一般行政職の職員を対象としている。教育委員会においては、市の職員は対象と考えるが、教員においては人材育成の体系なども異なると考える。碓氷病院についても、事務局は対象となるが、医師や看護師などは対象外と考える。</p>
<p>◇ OJTに踏み込んで、丁寧な人材育成を実施することが記載されており、大変良い内容になっていると感じる。</p>
<p>◇ 非常に良い内容の答申になっていると感じるので、市としてどのように実現・実施していくのかに期待したい。</p>
<p>◇ これだけ作りこんだものが、作りっぱなしにならないようにしてもらいたい。</p>
<p>◇ 今回、修正された答申を見ると、より内容が充実したものになったと感じる。やはり、これを実践したことによって、どのように良くなったか、研修を受けた職員の意見がまとめられると良いと思う。</p>
<p>◇ 項目ごとに評価することを試みてもらいたい。</p>
<p>◇ 職場研修（OJT）について、この表現だと、職場で専門研修などの研修を実施するという意味になってしまわないか。職場で働きながら教育訓練を行うという内容が伝わるか。「仕事をしながらの育成が大切である」ということが伝わると良い。</p>

<p>職務自体が研修であるという意味であり、違う意味で捉えられてしまう可能性はあるかもしれない。事務局と検討させてもらいたい。</p> <p>(⇒ 上記について検討した結果、そのままの表現で伝わると判断し、修正はせず。)</p>
<p>◇ 意見が出そろった。</p> <p>答申は内容的に相当踏み込んだものであり、密度が濃いものである。この答申がきちんと使われ、内容が検証されて、職員の質に還元されることを望み、行政改革審議会としても経過を確認したいと考える。</p> <p>他にご意見がなければ、本日の協議結果を以って、安中市長に答申することとしたい。</p>
<p>◇ 異論なし。</p>
<p>◇ 答申書の内容について、本日の議論で生じた軽微な変更は、私と事務局に一任いただきたい。</p>
<p>◇ 異論なし。</p>
<p>◇ 以上で、審議を終了とする。</p>

4 その他

- 今後について、7月20日（火）14時から市長への答申式を行う。
通知を送付するので、ご同席いただける場合には、ご連絡をいただきたい。
- 8月26日（木）午後に令和3年度行政評価の外部評価を実施する予定である。
こちら、今後通知を送付する。

5 閉会